

三条市水道事業ビジョンの達成状況 (平成28年度)

基本方針1 安全で安定した水道水の供給

1 水源の確保・保全・水質管理の徹底

平成28年度の啓発活動等実施回数及び水質異常発生回数の実績は右表のとおりであり、いずれも計画を達成しました。

安全で安心した水道水の供給のために、水源の確保と保全、水質管理の徹底は重要です。今後も水道施設のパトロールや水質管理等の徹底に努めます。

区 分	平成28年度		
	計 画	実 績	計画値との差
啓発活動等実施回数(回)	2	2	0
水質異常発生回数(回)	0	0	0

2 水道施設の安全管理

水道施設の日常点検を確実に行之、施設の異常把握に努めました。

基本方針2 災害に対する強靱化の推進

1 水道施設の耐震化

老朽管の更新に併せて管路の耐震化を進めました。実績は右表のとおりであり、老朽管布設替工事の繰越し等の理由により計画未達となりました。

区 分	平成28年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管 路 の 耐 震 化 率 (%)	7.9	7.7	△0.2

2 災害時対応の充実・強化

応急給水体制の確保については、日本水道協会新潟県支部との応援体制が確立されている中で、水道お客さまセンターとの連携を含め、市の水害対応防災訓練に併せて訓練を実施いたしました。

また、災害復旧体制の確保については、日本水道協会新潟県支部の三条エリア団体（三条市、燕市、加茂市、田上町、弥彦村、三条地域水道用水供給企業団）と資機材の保有情報を共有するなど関係機関との連携を図りました。

基本方針 3 健全な事業運営の持続

1 計画的な施設の更新

浄配水施設の長寿命化については、企業団からの受水量が増大する平成40年度以降に向けて、大崎浄水場の在り方について更に検討を進めてまいります。

管路の更新については、老朽鑄鉄管の更新を推進し右表のとおり計画を達成しました。

区 分	平成28年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路更新延長 (km)	5.5	6.2	0.7

2 収益の確保

水道事業の収入の根幹を成す水道料金の収納率は、計画値を0.17%上回り達成いたしました。今後も未納状態が増加しないよう納付意識を向上させるとともに給水停止を含めた未納対策に取り組んでまいります。

区 分	平成28年度		
	計 画	実 績	計画値との差
収納率 (%)	98.71	98.88	0.17

3 経営の効率化

コストの削減及び定員適正化計画の推進については、職員数、営業収支比率及び経常収支比率に関し計画を達成いたしました。これからも徹底したコスト削減を図り経営の効率化に努めます。

一方、有収率は計画を下回りました。配水管の漏水が原因と考えられますので、漏水箇所の早期発見と修繕に努め有収率の向上を図ります。

区 分	平成28年度		
	計 画	実 績	計画値との差
職員数 (人)	32	31	△1
営業収支比率 (%)	97.99	98.91	0.92
経常収支比率 (%)	100.58	101.33	0.75
有収率 (%)	90.07	89.21	△0.86

基本方針 3 健全な事業運営の持続

4 事業運営体制の強化

水道水の安全性等、高度化・多様化するお客様ニーズに対応するため、水道施設管理や設計に係る技術等の研修に参加いたしました。

区 分	平成28年度		
	計 画	実 績	計画値との差
外部研修参加人数（人）	6	9	3

投資計画と財政収支計画の達成状況 ①投資計画

投資計画

平成28年度は、籠場取水場機器更新工事、配水管布設工事、配水管布設替工事、消火栓設置工事等を実施し、当初計画していた事業を概ね実施できました。なお、配水管布設替工事費については、関連工事の工期延長などにより495,400千円を翌年度に繰り越しました。

（千円）

区 分		平成28年度		
		計 画	実 績	計画値との差
更新費用	浄水施設費	20,304	18,738	△1,566
	配水管布設替工事費	988,870	424,933	△563,937
		1,009,174	443,671	△565,503
その他建設費用	配水施設設置工事費	9,333	497	△8,836
	配水管布設工事費	157,700	156,596	△1,104
	消火栓施設費	9,000	9,595	595
	固定資産購入費	1,693	940	△753
		177,726	167,628	△10,098
計		1,186,900	611,299	△575,601

投資計画と財政収支計画の達成状況 ②財政収支計画

給水人口と年間有収水量の見込み

給水人口、年間有収水量とも計画値より若干の増となりました。今後とも減少傾向が続くと考えられますので、注視してまいります。

区 分	平成28年度		
	計 画	実 績	計画値との差
給水人口(人)	99,249	99,650	401
年間有収水量(千m ³)	12,093	12,156	63

収益的収支

収入においては、料金収入は計画値を上回りましたが、長期前受金戻入等が計画値を下回り、全体としては計画値を若干下回りました。

支出においては、主に経費節減等により物件費等の低減を図った結果、全体として計画値を下回りました。

以上の結果、純利益は計画値を上回り、計画を達成いたしました。

(千円)

区 分		平成28年度		
		計 画	実 績	計画値との差
収 入	1 営業収益	1,863,666	1,868,578	4,912
	(1) 料金収入	1,840,888	1,849,190	8,302
	(2) その他	22,778	19,388	△3,390
	2 営業外収益	95,518	89,013	△6,505
	(1) 他会計繰入金	2,101	1,930	△171
	(2) 長期前受金戻入	55,373	50,150	△5,223
	(3) 水道加入金・その他	38,044	36,933	△1,111
	3 特別利益	0	1,043	1,043
計 (A)		1,959,184	1,958,634	△550
支 出	1 営業費用	1,901,823	1,888,981	△12,842
	(1) 人件費	207,116	205,277	△1,839
	(2) 物件費	1,164,664	1,150,148	△14,516
	(うち受水費)	854,806	854,806	0
	(3) 減価償却費ほか	530,043	533,556	3,513
	2 営業外費用	46,108	42,966	△3,142
	(1) 支払利息	45,178	42,538	△2,640
	(2) その他	930	428	△502
	3 特別損失	92	134	42
	計 (B)	1,948,023	1,932,081	△15,942
損益 (A) - (B)		11,161	26,553	15,392
利益剰余金残高		1,086,316	1,101,708	15,392

資本的収支

資本的収支については、建設改良費を495,400千円、工事負担金を119,211千円それぞれ翌年度に繰り越しました。また、請負差額等が発生したことから、結果として全体の差引不足額は計画値を下回りました。

内部留保資金残高は、平成27年度末時点の1,376,723千円から167,510千円増加しました。

(千円)

区 分		平成28年度		
		計 画	実 績	計画値との差
収 入	1 企業債等	350,000	350,000	0
	2 出資金・補助金	1	0	△1
	3 工事負担金・その他	252,620	74,244	△178,376
	計 (A)	602,621	424,244	△178,377
支 出	1 建設改良費	1,267,272	682,830	△584,442
	2 企業債償還金	154,948	154,948	0
	3 災害復旧償還金	2,478	2,477	△1
	計 (B)	1,424,698	840,255	△584,443
差引不足額 (A)－(B)		△822,077	△416,011	406,066
内部留保資金残高		1,114,429	1,544,233	429,804

平成28年度における水道事業ビジョンの総括

主要事業計画に掲げた事業及び数値目標については、概ね計画どおりに実施及び達成することができました。

経営状況については、有収率が計画値を下回ったものの、概ね良好な事業運営ができました。

給水収益については、給水人口の減少に伴い低減傾向にあります。このような状況においても、水道事業はライフラインであり安定した給水を確保していく使命があります。

そのために、水道事業ビジョンで設定した基本理念及び基本方針に基づき、定員適正化等による徹底したコストの削減、漏水防止対策による有収率の向上、老朽配水管等の計画的な更新、施設の長寿命化等を推進してまいります。そして、中・長期的な視点に立ち、経営の効率化と健全な事業経営の持続を図るとともに、安全で安心な水道水の供給に努めてまいります。